

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業関係試験研究推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	不明～	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・農業を取り巻く社会情勢の変化により、良質多収の水稲や労力を軽減できるりんごなどの品種、高単価が狙える野菜の作型など、農作物の品種や栽培管理技術に新たなニーズが生まれている。

・地球温暖化（長野市の年平均気温：1889年～2020年の間に1.27℃/100年の割合で上昇）により、農作物の生育、品質、収量などに影響が出ている。また、春先の気温上昇（長野市3月平均気温：1991～2000年平均3.9℃⇒2011年～2020年平均4.8℃）により生育が前進し、凍霜害のリスクが高まっている。

・生産現場等に大きな変化をもたらす新たな品種・生産技術や、温室効果ガスの削減につながる技術を早期に開発していく必要がある。また、農業分野における新品種の育成者権等の知的財産の保護・活用を図る必要がある。

2 事業目的

・農業者が収益性や生産性の高い農業を展開できるよう、生産現場が抱えている課題（農産物の高品質化や収量増、環境変化による生育障害への対策など）を解決できる品種や栽培管理技術を新たに開発する。

・農業者がブランド力の高い農産物を安心して生産できるよう、農業分野における知的財産の保護・活用を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①生産力を強化し収益性を高めるための品種・技術開発
- ・病気に強く、多収な小麦品種の早期開発・普及（生産拡大）を実施するため、麦類の試験研究に特化した機械を導入（国補正予算を活用）
- ※その他の事業は当初予算のとおり
- ②地球環境に配慮し持続可能な農業を実現するための技術開発
- 当初予算のとおり
- ③農業分野の知的財産の保護・活用
- 当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	新しく普及に移す農業技術数	課題	78	↗	85	↘	68	↘	85	△	第4期長野県食と農業農村振興計画に基づき、現場で活用を図るために実用化した農業技術の課題数を目標値として設定。近年の実績を踏まえR8年度は85課題とする。
②	地球環境に対応した新たな農業技術数	課題	6	→	6	→	11	↗	6	△	試験研究推進計画に基づき、地球温暖化への適応策及びゼロカーボンに寄与する緩和策に関する農業技術の課題数を目標値として設定。近年の実績を踏まえR8年度は6課題とする。
③	職務育成品種数	品種	1	→	1	→	3	↗	1	△	信州農産物知的財産活性化戦略に基づき、農林水産省に品種登録出願を予定する職務育成品種数を目標値として設定。近年の実績を踏まえR8年度は1品種以上とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出											
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346	2027 (R9)	3,700	

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額				
R8年度	5,852	509,551	47,300	47,300	562,703	184,911	△	164.0
R7年度	0	478,013	△ 51,713	△	426,300	186,278	△	164.0
R6年度	0	481,035	△ 66,542	△	414,493	171,300	395,502	164.0

事業名	農業関係試験研究推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	--------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
1	運営費	94,753 千円	107,802 千円	予算現額 103,410 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	試験場の運営・施設管理	直接	農業関係試験場における庁舎施設の維持管理のため、老朽化した設備等の修繕や改修工事などを実施 試験場施設の修繕や工事等の項目数：4 ①試験場敷地内の樹木伐採（1か所） ②電話交換機の更新工事（1か所） ③車庫の屋根撤去工事（1か所） ④温室電灯幹線設備工事（1か所） ⑤庁内のエアコン設置工事（1か所）	

細事業 No.	細事業名	R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
2	整備事業費	11,038 千円	11,041 千円	予算現額 11,042 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	試験研究に必要な機材類の更新・導入	直接	試験研究を効率的に進めるため、データ取得や栽培管理などに必要な機材等の更新や導入を実施 試験研究に関わる機材等の更新・導入数：10 ・果樹の薬剤散布を行う「スピードスプレー」の導入 ・果樹の食害を防止するための「防鳥網」の修繕 ・普通作物の発芽試験等に使用する「低温恒温器」の導入 ・野菜の栽培管理を行うための「うね立て専用管理機」の導入 他6機材	

細事業 No.	細事業名	R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
3	研究推進費	12,832 千円	13,038 千円	予算現額 14,254 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	試験研究の効率的な推進	直接	試験研究の適切なテーマ設定及び人材の育成等を図るため、外部有識者との意見交換及び研究職員の短期研修への派遣を実施 外部有識者と試験研究推進に係る意見交換会を開催：1回 農林水産省が開催するキャリア別短期集合研修への職員派遣：3名以上	
2	知的財産の保護・活用	直接	試験場で開発した知的財産の活用や権利保護を行うため、啓発活動や海外での商標取得に必要な業務の委託などを実施 知的財産保護に関する研修会を開催：1回	

細事業 No.	細事業名	R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
4	素材開発研究費	157,119 千円	160,191 千円	予算現額 うち今回 補正額 166,655 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	生産現場のニーズに応えるための技術開発	直接	県内生産現場におけるニーズに応えつつ将来応用技術に繋げるため、基礎的な知見を集積した技術開発を実施 研究に取り組む課題数:73	

細事業 No.	細事業名	R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
5	県単プロジェクト研究費	25,848 千円	23,957 千円	予算現額 うち今回 補正額 36,224 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	生産現場の緊急要望へ対応するための技術開発	直接	県内生産現場における緊急的な要望に応えるため、概ね3年程度の短期間で集中的な技術開発を実施 研究に取り組む課題数:16	

細事業 No.	細事業名	R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
6	高度化等開発研究費	61,652 千円	64,514 千円	予算現額 うち今回 補正額 142,707 47,300 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	農水省の競争的資金等を活用し、国の研究機関や大学等と連携した技術開発	直接 委託	・県内外の生産現場における広域的な重要課題を解決するため、国の研究機関や大学等と連携し、農水省の競争的資金等を活用した技術開発を実施 ・病気に強く、多収な小麦品種の早期開発・普及(生産拡大)を実施するため、麦類の試験研究に特化した機械を導入 研究に取り組む課題数:38、プロットコンバインの導入:1式	

細事業 No.	細事業名	R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
7	新資材試験等協力研究費	51,251 千円	45,757 千円	予算現額 うち今回 補正額 88,411 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	民間企業や団体等からの受託試験等	直接 委託	国や民間企業、団体等が開発した研究成果に関する現場への適応性を判断するため、農薬や生産資材等の受託試験を実施 研究に取り組む課題数:19	